



令和7年6月18日発行

学校だより

第6号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教 育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

読書から広げる世界

校長 小澤 託

小さな頃、本を読むのは好きではありませんでした。それよりも、公園で野球をやったり、森や林に入って自分たちの基地を作ったり、考えた遊びをしたりして朝から晩まで外で遊んでいた気がします。小学校の時の教科書の音読や中学校の時の国語の古文の暗記は、嫌で嫌で仕方ありませんでした。（今は、それも大切な学習活動だと思っています！）

そんな状態でしたので、本を読むようになったのは、恥ずかしいながら10代の後半か20代に入ってからだと思います。教員になり、生徒や保護者の皆さんと話をする時に活かせるかもしれないと思い、今では様々なジャンルの本を読むようになりました。

先月、令和6年度 子供読書活動推進に関する調査の集計結果が発表されました。令和6年に都内の中学校2年生を対象に行った調査結果なのですが、令和4年との比較も含めて以下のようになっています。

＜表＞

項目	%	R4 と比較	% (R4)
不読率（＊1・＊2）	11.6	+1.3	10.3
読んだ本の中に電子書籍がある	28.2	+4.5	23.7
学校図書館を利用した生徒の割合	55.0	-4.5	59.5

＊1

電子書籍は「本」を含み、教科書 参考書や漫画、雑誌、図鑑などは含まない。

＊2 不読の理由：①本を読むことに興味がないから

②読みたい本がなかったから

③読む時間がなかったから

④文章を読むこと、字を見ることが嫌いだから、面倒だから

ちなみに、本を読んでいる人と読んでいない人の身近な環境の違いで、差異が大きかったのは…身近な人と本の話をする ことがある。家の中に本がある。学級文庫を利用している。の3つが多かったようです。

さて、この調査結果を見て、どのように感じたでしょうか？

活字離れは、より一層進み、図書館や書店から足は遠のき、ICT 機器のタブレットや PC で駆け巡る情報はキャッチするが、長い文章は面倒だからと本を読むこともせず、紙媒体の書籍は衰退の一途をたどる…

電子の書籍を否定するつもりはありませんが、紙の良さも含めて本を読むことは非常に大切なことだと私は思っています。読書をすることで、知識を広げ、想像力を豊かにし、思考力を育てることができます。そして、人によっては心を落ち着かせたり、語彙力の向上にもつなげたりすることもできます。自分の世界を広げるために、こんな良いことをやらないなんてモッタイナイ。みんなで本を読む習慣をつけませんか。

<歯も目も一生お世話になる大切なものです>

その昔、子どもの虫歯は100%に近かったという。

江戸川区は、8020（80歳まで20本以上自分の歯を）を目標に、歯を大切にする取組（歯磨きの励行、歯科検診の勧め等）を区全体で行っています。昔と比べると、今は子どもの虫歯も40%未満に減ったという話があります。

ちなみに6月10日は、「こどもの目の日」だったそうです。

近年、視力が1.0未満の子どもは増え続け、文部科学省の調査では、小学生の4割、中学生で6割、高校生では7割が、1.0未満の視力とされているそうです。

日本を含めたアジア人には遺伝的要因で近視が多いと言われているようですが、近視の増加はスマホの使用などの環境要因も大きく、世界的に見ても、近視の人が増え続けているとか…。

近視について研究しているある大学の先生の調査によると「個人差はあるが、屋外活動は近視を抑制する効果がある」と発表していて、実際に海を隔てた台湾では、小学校では1日2時間以上の屋外活動を課したところ、近視の子どもが減ったという結果が報告されています。

みなさんの視力はどうでしょう。

現代生活の中で、スマホなどの電子機器を手放した生活というのは考えられない状況だと思います。しかし、予防なり対策なりの手段を講じないとあっという間に目が悪くなっていきます。歯磨きや歯科検診などで改善した歯の健康と同様に、今のうちから目の健康のためにできることをした方がいいかもしれませんね。

～生徒の活躍①～

<夏季総体>

サッカー部：予選リーグ通過 1勝1分 決勝トーナメント ベスト16

ソフトテニス部：男子・女子個人 上位進出者なし（団体戦 今週末実施予定）

バスケットボール部：1回戦 敗退

バレーボール部 女子：予選リーグ敗退 1勝2敗

剣道部：男子団体 優勝 女子団体 第3位（篠崎二中・西葛西中と合同チーム）

男子個人優勝 ■■■■■ 女子個人準優勝 ■■■■■

<都陸上東部地区大会>

陸上部：3年女子走高跳 第2位 ■■■■■ 3年男子砲丸投 第3位 ■■■■■

3年男子4×100m 第4位 ■■■■■・■■■■■・■■■■■・■■■■■

*次号でも紹介します！

～期末考査を終えて（保護者の皆様へ）～

1学期末の考査も終わり、生徒はホッと一息というところでしょうか。

答案用紙が返却され、結果を見て一喜一憂するとは思いますが、保護者の皆様には、ぜひ、結果だけではなく、考査までのお子様の取り組みの様子（過程）と結果を受けてからのこれから（行動）に注目してほしいと思います。

結果はいろいろだとは思いますが、取り組みの中でお子様の頑張っている様子が感じられたら大いに褒めてください！もう少し頑張ってほしかったなあ、と思ったら、次に向けて頑張ろうと思うように励ましてください！そして、結果を受けて、もう一度、問題の解き直しや見直しをしていたら、これからに期待してください！もし、今までと変わらず何も変化がなかったら、繰り返し伝えてください！“やればできるよ”と…。

私たち大人も、子どもの時期があり、同じような道を辿ってきたわけですから、“あの時、こう言われていたら…”というのがあるはずですよ。褒めて伸ばしましょう。まだまだ伸びる可能性ある宝物（子どもたち）ですから！！